



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

しらこぼと

2016.6

No.386

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



2016年冬 カモ科カウント調査結果 日本野鳥の会埼玉 研究部

今回の調査は2016年1月9日～17日の間に、県内62ヶ所で行われました。この調査で18種(ハクチョウ科2種、カモ科16種)、10,579羽が記録されました。昨年より1,482羽少なく、3年続けての減少となりました。

珍しい記録は深作遊水池(見沼区)のおオハクチョウ(2羽)です。この2羽は芝川第一調節池で越冬した2羽と同じ個体と思われます。

また、内陸では珍しいスズガモが彩湖で1羽、渡良瀬遊水池(谷中湖)で10羽記録されました。

カワウは35ヶ所で946羽、昨年(1,413羽)の約7割に減少しました。カモ類への給餌が行われていたのは4ヶ所で、いずれも来園者や近隣の住民による不定期な給餌でした。

昨年と今年の結果を種類ごとに比較してみ

調査地(河川)		コハク チヨウ	オオハク チヨウ	オシドリ	オカヨシガ モ	ヨシガモ	ヒドリガモ	マガモ	カルガモ	ハシビロガモ	オナガガモ	トモエガモ	コガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カワアイサ	カモ不明種	カモ科 個体数	カモ科 種類数	カワウ	給餌の 有無
入間川	豊水橋～新富士見橋(狭山市)						15	3				15									33	3		
越辺川	八幡団地前	17									62	6									85	3	2	
荒川	荒川鉄橋～戸田橋						4	12				9	1								26	4	135	
	彩湖			5			12	23				22	126	206	1	2					397	8	108	*
	南畑排水機場・びん沼川						18	85	26			38									167	4	7	
	明戸堰(白鳥飛来地)	10															25	1			36	3	4	
	玉淀河原(川の博物館付近)						56	16						17							89	3		
玉淀ダム		6				23	4						9	34						76	5	3		
鴨川	鴨川排水機場						46					15									61	2	5	
	浅間橋～堀の内橋					26	21	34				60									141	4	1	
元荒川	今宮橋～八幡橋～清掃局						2	85				77									164	3		
	東北本線鉄橋～県道3号線					35		9				1									45	3		
	城北大橋～水管橋					13	7	62				24									106	4	1	
	末田堰											35									35	1		
古利根川	寿橋～堂面橋						50	14				10									74	3	1	
	古利根公園橋～藤塚橋				120	84	68					51									303	4	2	
利根川	坂東大橋下流		5	2		73				57		212				20		3			372	7	16	
新河岸川	川崎橋～白鳥橋			10	3	288	24	65				40									430	6	3	
	川崎橋～第二新河岸橋			14	55	12	6				4	20									111	7		
裾野川	富士見橋～栄橋					77		5				50									132	3		
芝川	石橋～松山橋				2	8		12				21		1							44	5	1	
	松山橋～大道橋			6		50		2	10	5		81		3							157	7	2	
	合併記念見沼公園の池											13		13							26	2		
	大道橋～新宿橋											54									54	1		
	新宿橋～八丁堤						14	59				15									88	3	4	
	芝川第一調節池		4				2	16	3	50		8	10	7				1			101	9	70	
	八丁橋～青木橋水門					4		16		8		42	2	4							76	6	5	
青木橋水門～芝川水門					130		36													166	2	4		
加田原川	七里総合公園～県道214号線																				0	0		
	七里総合公園～締切橋							15													15	1		
見沼代用水 東線	締切橋・さぎ山記念公園の池～国昌寺橋							42				1									43	2		
	国昌寺橋～国道463号線							13													13	1		
	国道463号線～山口橋							7													7	1		
見沼代用水 西線	県道214号線～山中橋							48													48	1		
	山中橋～馬場橋							52													52	1		
	馬場橋～附島橋							43													43	1		
綾瀬川	武蔵野線鉄橋～新栄団地					29	2	22				23								76	4	2		
種類別個体数		27	0	6	44	7	835	445	874	39	182	19	928	148	285	1	47	2	3	0	3892		375	

ました。

個体数3ケタのクラスでは、ヒドリガモ(1.4倍)、ホシハジロ(2.4倍)、キンクロハジロ(1.7倍)の3種、個体数2ケタのクラスではホオジロガモ(1.8倍)、トモエガモ(3倍)の2種が大きく増加していました。

一方、減少が目立ったのはコハクチョウ(0.21倍)、ミコアイサ(0.25倍)、ヨシガモ(0.5倍)の3種でした。全体の個体数が昨年よりも減ったのは、マガモ、カルガモ、ハ

シビロガモ、オナガガモ、コガモが昨年の1～2割減だったこと、カモ不明種が大きく減ったことによるものと考えられます。

今回の調査は48名の方にご協力いただきました。厳しい寒さの中での調査、お疲れさまでした。心より御礼申し上げます。お名前は後日、「行事報告」欄に掲載いたします。今後とも、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

(研究部 小林みどり)

調査地(湖沼)	コハクチョウ	オオハクチョウ	オシドリ	オカヨシガモ	ヨシガモ	ヒドリガモ	マガモ	カルガモ	ハシビロガモ	オナガガモ	トモエガモ	コガモ	ホシハジロ	キンクロハジロ	スズガモ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カワアイサ	カモ不明種	カモ科個体数	カモ科種類数	カワウ	給餌の有無
秋ヶ瀬公園の池							1	33	1											35	3		
狭山湖							373	1			19	98	47	2						540	6	7	
川越水上公園の池					68			48				11		2				1		130	4	1	
小峠水鳥の郷公園・御伊勢塚公園					12	19	28		1			26								86	5	36	
伊佐沼	2				84		127	3				235	2							453	6	45	
武蔵丘陵森林公園の池(山田大沼)					13	214	7					174		6						414	5	296	
大沼(吉見町)																				0	0		
八丁湖							75	6	1			5	11	25						123	6		
大沼公園・大沼(熊谷市)					38			13	76			1								128	4	1	
県立農林公園・芳沼				62				43	6			16	22	181						330	6	2	
久喜菖蒲公園・昭和沼					14	127	233	155	9			101	14	76	1					730	9	15	
行田浄水場						21	386	90	3			135	3	66					12	716	7	3	
白幡沼								12	3	2		14	3							34	5		
見沼自然公園				6		35	1	30	114			19								205	6		○
大宮公園								7	18				1	23						49	4	1	○
大宮第三公園				3				12				48								63	3		
深作遊水池		2					8					1								11	3		
そうか公園の池					80		54	19	18			4		4						179	6	3	○
大相模調節池(レイクタウン湖)							22	7	10			1	2							42	5	4	
大吉調節池					152	2	8	22				4								188	5	6	
緑の丘公園の池						40	57					56						3		156	4	7	
渡良瀬遊水池・谷中湖					105	420	241		204						10		29	6	312	1327	7	131	
加須はなさき公園の池				3		61	82					1								147	4		○
宝蔵寺沼						78	255					11								344	3		
赤堀遊水池					3	57	105	11				81								257	5	13	
種類別個体数	2	2	0	71	20	853	1998	1305	55	446	29	1042	105	385	10	1	29	9	325	6687		571	

2016年種類別総計	29	2	6	115	27	1688	2443	2179	94	628	48	1970	253	670	11	48	31	12	325	10579	18	946	
2015年種類別総計	141	0	4	107	59	1202	3198	2701	107	759	16	2199	104	390	0	26	136	8	1045	12203		1413	
増減比(2016/2015)	0.21		1.50	1.07	0.46	1.40	0.76	0.81	0.88	0.83	3.00	0.90	2.43	1.72		1.85	0.23	1.50	0.31	0.87		0.67	

*:給餌はユリカモ対象。

2016.03.12 千葉県銚子 探鳥日誌

榎本 秀和(鴻巣市)

銚子のキバラガラとうわさは聞き流していたが、換羽が進んで綺麗になった、と背中を押すような言葉が舞い込み、たまらず銚子への日帰り探鳥を決行。銚子への道は幾度も走っているとはいえ、カーナビのない私は、最近は一ひとりのときはJRを使う。

東京駅7:37発「しおさい1号」で銚子駅に9:34着。駅前で9:40発「岬めぐりシャトルバス」(土日祝運行、1日券500円・2日券700円、1日6往復あり、乗り降り自由)に駆け乗り、まずは「君ヶ浜海岸」へ。10:02現地着。しかし黄色い子は見つけられず。そもそも海鳥好きの私は、海のほうに気を取られて、小鳥探しに身が入らないのだ。犬吠埼に上がってみたりしながら12:30のバスを待ち、12:38に「ポートタワー・ウオッセ」で下車。今日の潮回りにナイスなタイミングで(いわゆる)銚子第3漁港の干潟へ行く。数人の鷗マニアが来ている。「キバラはもう数日出てないよ」という誰かの話。「そうか、早めに切り上げたのは正解だった」。そう、実はこの日はカモメ類が大当たりしたのだ。超有名写真家のM氏もやって来た。セグロ・オオセグロ・ミツユビ・ウミネコは言うに及ばず、ワシカモメ1W(第1回冬羽のこと、以下、同様に略記する)、シロカモメ1Wと2W、カモメの亜種コカモメ2W。そしてうれしかったのがカナダカモメ成鳥と2W、アイスランドカモメ1W。やったね、いやあ〜勉強になった!

13:48のバスに乗り、14:04銚子駅に戻る。すでに入線している14:17発「しおさい10号」に乗り込むと、グビリと喉を鳴らして、私は缶ビールをあおったのだった。東京駅16:03着。



犬吠埼(編集部)

今年も「カッコウ」がまちどおしい

山部 直喜(三郷市)

5月になると毎年のように自宅でカッコウの声を聞くことができる。今年も来ることを願い、昨年の初認から終認までの目立った行動をまとめてみた。

・5月15日(晴)、AM5時頃、数回の鳴き声で目が覚める。間髪を入れず、鳥友で近所に住むO氏より携帯にメール。「今朝4:55、カッコウの声」。今年も来てくれた。初認だ。昨年より1日早い。

・5月19日(雨)、AM5時頃から昨年と同じTVアンテナで、止まる方向を忙しく変えて盛んに鳴いている。

・5月22日、4:45、TVアンテナで開始。今夏の記録を読み返すと本日が最もテンションの高い鳴き方と思われる。まるで、乱れ鳴き、機関銃である。よく聞いていると、鳴き始めて十数声を越えたあたりでわずかな区切りがある。それを1セットとすると、5セットぐらいは鳴き続ける。6セット目の再開には1分もないときがある。5時台には、数セットを数回。6時台は休憩。TVアンテナにも姿なし。7時台は戻ってきて5時台と同じ状態が続いた。

・5月25日、5月22日と似た状態だが、やや縮小。

・5月30日、6時ごろにはいったんやむ。1セットの鳴き声数、およびセット数が5月22日の半分以下の印象。

・6月14日、5:00、1セット9~10声。1声と1声の間に句読点を入れているような落ち着いた鳴き方。総セット数も5、6セット。

・6月22日、5:20、ゆったりと1セットのみ。確認できない日が続いていた。

・6月25日、5:27、O氏からのメール「先ほどから吉川方面よりかすかに聞こえてきます」。5:33、いつものTVアンテナで、10分前後で1セット。5:50~6:05、近くの2、3か所のTVアンテナを行き来しながら1セット。6:10、東南の方向へ飛ぶ。これが今年の終認となった。昨年より4日早い。

・観察日数42日間。その内、確認日数30日。



野鳥情報

鴻巣市大間一丁目 ◇1月24日午後12時40分頃、「カワセミがいるよ」と次女からメール。当地初記録。1時間ほど経って行って見たらまだいた。元農家の庭先の溜め池(広さ4畳半ほど)だ。♂だった。この日は風が強く、風を避けてブロック塀の陰にとまっていた。ところで、この近くにカワセミの生息するような環境はない。市街地の中、かなりの距離を飛んで、たまたま見つけた水辺に降りたものと思われる。もしかしたら渡りの途中? 1月31日夕方まで目撃。ところが、2月4日に行ってみたら、その溜め池が埋め立てられていた!(榎本秀和)。

さいたま市緑区芝川第一調節池 ◇1月25日、トモエガモ60羽、オオハクチョウ2羽、コハクチョウ2羽、カワアイサ♀1羽、ミコアイサ♂5羽♀3羽、他にヨシガモ、マガモ、コガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、カルガモなど。チュウヒ2羽、1羽は頭が白い。オオタカ幼鳥1羽。いつもの鉄塔にハヤブサ1羽、食事中。今年一番の寒波。池の一部は凍る(野口 修)。

さいたま市緑区上野田 ◇1月25日、見沼自然公園南側の畑地でムクドリの群れに混じり、ホシムクドリ1羽=下写真=を観察した(本間二郎)。



春日部市梅田 ◇1月26日、セグロカモメ、ツグミ(声)。1月29日午後4時、ダイサギ19羽、コサギ1~2羽。1月30日、イソヒヨドリ♂が前のマンション駐車場の外灯にとまる。今シーズン3回目の観察。1月31日、カワセミ飛ぶ。川岸が整備されすぎた

為、見られる機会が少なくなった。2月に入り、水鳥たちの姿はほとんどなく、春は早い(富田美邦)。

蓮田市黒浜沼周辺 ◇1月27日、アオサギ、コガモ、マガモ、カルガモ、カイツブリ、ツグミ、アオジ、モズ、メジロ、カシラダカ、ジョウビタキ、オオジュリン、タヒバリ、カワセミ、タシギなど。2月14日午後3時~4時、黒浜沼及び笹山でウズラ、タヒバリ、ベニマシコ♂♀、オオジュリン、タシギ、サバンナシトドなど(本多己秀・久文子)。

蓮田市西城沼公園周辺 ◇1月25日、カワセミ♀1羽、今冬になって西城沼で初認。今年は繁殖を成功させたい。1月29日、100羽以上のカラスが高圧電線に並んだ。ミヤマガラスかと思ったらハシボソガラスだった。2月12日、ムクドリのペアが目立つようになった。梅林でモズがカケスを追い回していた。湧水に垂れた小枝でツミがジッと獲物を狙っていた。2月27日、ヒヨドリ20羽±がキンカンの木に群がって実を食べていた。シュロの実をヒヨドリが食べていた。2月29日、カケスが林床のドングリを丸呑みし、喉袋を膨らませて飛び去った。ムクドリ50羽±とスズメ30羽±が放棄畑の雑草の実を食べていた。(長嶋宏之)。

川越市笠幡 ◇2月6日、旧西清掃センターの池でスズガモを観察した。海ガモが川越まで来るとは驚いた(太田信行)。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇1月23日、カワセミ♀、キクイタダキ、クイナ、イカルチドリ、トラツグミ、アカハラ、シロハラ、エナガ、アトリ、ホオジロなど。天候が下り坂のせい、いつもより鳥が騒いだ。数も種類も多かった。2月11日、アトリ、エナガ、シロハラ、アカハラなど。鳥の数が多かった(本多己秀・久文子)。◇2月12日、ルリビタキ、ミソサザイ、トラツグミ、エナガなど(本多久文子他1名)。◇3月5日、12日、隣接した元荒川に30羽±のヒドリガモの群れの中にトモエガモ♂1羽が交じっていた。もう1週間もいる。ここで見るのは今年が初めて(内田克二)。

さいたま市桜区鴻沼川 ◇2月17日、ヨシガモ、コガモ、カルガモ、オオバン (陶山和良)。

さいたま市桜区さくら草公園 ◇2月17日、マガモ、ヨシガモ、ツグミ、ジョウビタキ、シジュウカラ、ムクドリ (陶山和良)。

戸田市彩湖 ◇2月17日、右岸でマガモ、コガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、アオサギ、カワウ、ユリカモメ、キジ♀、ツグミなど。3月5日、左岸でヨシガモ6つがい、カンムリカイツブリ夏羽1羽、ダイサギ2羽、コサギ、アオサギ、オオバン多数、カワウ、チョウゲンボウ、オナガ14羽、ツグミ、ハクセキレイ、シジュウカラなど(陶山和良)。

さいたま市桜区・大宮区の鴨川 ◇2月19日、島根橋～堀の内橋でコガモ80羽十、ヒドリガモ26羽、オオバン16羽十、セグロカモメ2羽、マガモ、カルガモ、カイツブリ、バン、イソシギ、タシギ、カワセミ、モズのペアなど。3月8日、藤橋付近のアシや灌木の間でホオジロ4羽、アカハラ1羽、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、シジュウカラ、ウグイスの囀りなど(大塚純子)。

さいたま市中央区上落合 ◇2月24日、赤山橋付近の鴻沼川の浅い流れでコガモ♀7羽♀5羽が採餌。傍らでキセキレイ1羽が「チチチッ」と囀りながら飛び回る(大塚純子)。

深谷市の利根川河川敷 ◇2月25日、ケアシノスリ＝下写真。1月22日から居ついている。私の観察の範囲では本庄から深谷市までの間で同じ日に3羽確認できたこともあった(森田文三郎)。



久喜市菖蒲町小林調節池N36. 0572 E139. 5989
◇2月27日、チョウゲンボウがホバリング

して、2羽のノスリが輪を描いた。キジ♀が悠々と歩いて、カシラダカの羽衣が夏羽に変わってきた。アシ原でホオジロ50羽十の群れとスズメ80羽十の群れがにぎやかだ。他にオオバン、アオサギ、ダイサギ、アオジ、ジョウビタキ、ツグミ、ヒバリ。ハクセキレイ6羽の群れにセグロセキレイ1羽など(長嶋宏之)。

鴻巣市大間一丁目 ◇2月27日、遠くからウグイスの声。多少のぎくしゃくはあっても、それなりの囀りで「初音」として合格!(榎本瑞穂)

岩槻区馬込 ◇2月28日、トラスト7号地でルリビタキ♀、久しぶり。シロハラ、コゲラ、オナガ、ヒヨドリ(本多己秀・久文字)。

本庄市坂東大橋周辺 ◇2月28日午後1時40分～4時20分、キンクロハジロ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、セグロカモメ、トビ、コゲラ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、オナガ、シジュウカラ、ヒバリ、ウグイス、メジロ、ツグミ、ジョウビタキ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ベニマシコ、ホオジロ、カシラダカ、アオジなど(大畑祐二)。

桶川市若宮 ◇3月1日午前8時、ウグイスの囀り。自宅近くの若宮神社南のカシの木にて、美しい声で鳴く。昨年(2月28日)の早朝でした(立岩恒久)。

滑川町武蔵丘陵森林公園 ◇3月8日。探鳥会終了後、食事に中央レストランに向かっている途中、斜面に鳥影を確認し、双眼鏡で見るとトラツグミ。ある程度観察してから足早に食事を済ませ、トンボ返り。まだ居てくれた。アフターで残っていた人たちも呼び、よ～く観察(大畑祐二)。

表紙の写真

カモ目カモ科マガモ属カルガモ

6月。カルガモの群れが警戒しながら一緒に行動している。飛べるようになった子とそれを守る親だと思ふ。

徳名貴房(春日部市)



行事案内



ササゴイ (編集部)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：中学生以下無料、会員 100 円、一般 200 円。

(4月から参加費を改定しました。ご了承くださいをお願いします。)

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。実際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：6月4日(土)

集合：午前8時、東武越生線川角駅前。

交通：東武東上線川越7:16(準急)→坂戸で越生線乗り換え7:39発。または寄居6:44→小川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR川越線大宮6:37→川越で東武東上線乗り換え。

担当：山口、青山、久保田、志村、鈴木(秀)、高草木、藤掛、藤澤、持丸

見どころ：ホトトギスの声が聞こえる高麗川。川沿い遊歩道工事で、コチドリがちょっと心配。カワセミやカルガモ親子に会えるかな。お弁当持参で昼食時の交流も。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：6月5日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR高崎線北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、岡安、近藤、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早)

見どころ：葉が茂り姿の見にくくなるこの時期は、林間を鳴きながら飛ぶカッコウ、ホトトギスが楽しみです。

さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：6月5日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園 駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。担当：手塚、伊藤、赤堀、大井、須崎、野口(修)、藤田、若林

見どころ：冬はにぎわう水辺も新緑のこの時期は静か。調節池周辺で夏を過ごす鳥たちを観察します。注意：途中トイレがありません。天候によってはコースを変更します。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：6月12日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:09発、または寄居8:50発に乗車。

担当：新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上、茂木

見どころ：葉が茂って見つけにくい季節ですが、青葉の中、涼風を感じながら、のんびり探鳥しましょう。ホトトギスの声や巣立って間もない幼鳥との出会いが楽しみ。

羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：6月16日(木) 平日

集合：午前9時、羽生水郷公園北駐車場。

交通：羽生市福祉バス手子林・三田ヶ谷ルート(ムジナもん号)東武伊勢崎線羽生駅東口8:05発～南羽生駅8:22発で、「キャッセ羽生・水郷公園」下車。

共催：羽生水郷公園管理事務所
担当：相原(修)、相原(友)、新井、植平、竹山、飛田、中川、茂木
見どころ：梅雨の季節で雨が心配。でも、芝生広場には沢山のヒバリ。コチドリやコアジサシは今年も来てくれるでしょうか。
注意：帰りのバスの便は 14:51 発です。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：6月18日(土) 午後3時～4時ころ
会場：会事務局 108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：6月19日(日)
集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ(注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です)。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。
後援：さいたま市立浦和博物館
担当：浅見(徹)、青木、赤堀、浅見(健)、楠見、小菅、新部、島山、増田
見どころ：梅雨本番。天気は心配ですが、見沼たんぼは鮮やかな緑色。皆さんと一緒にカルガモ親子を探したいと思います。

埼玉 Young 探鳥会 群馬県板倉町・渡良瀬遊水地

期日：6月19日(日)
集合：午前9時 東武日光線板倉東洋大前駅東口(集合後、15分程歩いて現地へ)。または午前9時15分 想い出橋駐車場
担当：石塚(敬)、石塚(真)、小林(み)、佐野、野口(修)、菱沼(一)、廣田
見どころ：広大な湿地でコヨシキリやオオセッカ、ササゴイ等を探します。今回は日本野鳥の会栃木「youth 観察会」との合同開催！お昼をはさんで午後1時半頃終了(昼食持参)。若者の輪をさらに広がります。

日本野鳥の会埼玉 総会のご案内

日時：6月26日(日)
午後1時00分 受付開始
午後1時30分～2時20分 記念講演
午後2時30分～4時00分 総会

会場：さいたま市民会館うらわ(さいたま市浦和区仲町2-10-22)5階503-505集会室)。
交通：JR京浜東北線浦和駅西口から県庁通りを西へ。埼玉会館手前角右折。玉蔵院を通り抜けて約400m左側。徒歩約10分。
記念講演：(公財)日本野鳥の会普及室堀本理華さん「支部と財団事務局の連携～裾野を広げた普及活動へ～」
総会議題：平成27年度事業報告と決算報告、平成28年度事業計画案と予算案、平成28年度役員の選出。

参加資格：埼玉会員であること。
前年度の活動を振り返り、新年度の予算や方針を決める大切な総会です。多数の方のご参加をお待ちしています。

長野県・乗鞍～上高地探鳥会(要予約)

期日：7月30日(土)～31日(日)
集合：30日、午前6時30分 大宮駅東口、または午前7時 川越駅西口の2箇所。
交通：集合地から貸切バス(27人乗り中型)を使用。
解散：31日、午後9時45分ころ 大宮駅東口、または午後9時ころ 川越駅西口の2カ所の予定。ただし、高速道路の渋滞等の交通事情により変更有り。
費用：38,000円の予定(往復交通費・宿泊代・保険代等を含む)。万一の過不足は当日精算。集合地までの往復交通費は各自負担。
定員：22名(埼玉会員優先、応募多数の場合は先着順)。最少催行人数19名。
申し込み：往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号(保険加入に必要)・喫煙の有無・集合場所の大宮か川越を明記して、入山博()まで。
6月1日消印から受付有効とします。
担当：入山、石塚(敬)、長谷部、藤原、星
見どころ：『涼』を求めて乗鞍と上高地へ。乗鞍では、ライチョウ等の高山の鳥やコマクサ等の高山植物を観察し、上高地では、穂高連峰の景色を見ながら梓川沿いを散策。
その他：宿泊先は、上高地の河童橋の傍の五千尺ロッジです。宿泊は1部屋3名での相部屋で。個室の用意はできません。参加者には後日詳しい案内を発送します。



行事報告

12月20日(日) さいたま市 三室地区

参加: 55名 天気: 晴

カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ バン オオバン オオタカ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (31種) (番外: ドバト) 集合場所の博物館の庭で、まずエナガの群れを観察。逆さにぶら下がるのもいて、サーカスのパレードを見ているようだ。芝川の岸のアシ原で、ゴイサギが休息。見える範囲だけでも成鳥3羽、若鳥4羽。10数羽から30羽前後のツグミの群れを、今日は何度見ただろう? 今シーズンはツグミが少ないと心配していたが、ようやく到着したようだ。(小林みどり)

12月23日(水、祝) 年末講演会

参加: 69名 場所: 浦和コミュニティーセンター

第1部「映像で振り返るこの1年」では9名という近年稀に見る多くの会員から寄せられた映像やスライドを鑑賞。第2部では蒲谷剛彦氏をお招きして、『鳥声録音 — 録音こと始め』のテーマで講演していただいた。お父様の故鶴彦氏について、鳥に興味を持ち録音を夢見た幼いころや、苦勞と工夫をしながらの戦争中や終戦直後の録音など、剛彦氏ご自身が見聞きしたことを軽妙な語り口でご紹介いただいた。第3部は希望者による懇親会。ワシントンホテル内の中華料理店で、講師の蒲谷様を含めて30名が出席。(長野誠治)

12月29日(火) 幸手市 宇和田公園

参加: 54名 天気: 晴

カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ イカルチドリ イソシギ トビ ノスリ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ ス

ズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (29種) (番外: ドバト) 公園内と中川沿いで今年最後の探鳥をゆつくりと楽しんだ。お目当てのシラコバトだが、早めに来た数名は見られたが、探鳥会では出なかった。年末にも関わらず多数お集まりいただき、大変ありがとうございました。(佐野和宏)

1月4日(月) さいたま市 さぎ山記念公園

参加: 59名 天気: 晴

コジュケイ キジ オカヨシガモ ヒドリガモ カルガモ オナガガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ バン オオバン ハイタカ オオタカ ノスリ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (39種) (番外: ドバト) 最高気温16℃近くのぼかぼか陽気。下見の時に少なめに感じた鳥は、探鳥会開始前と終了後のルリビタキやキセキレイを除いても昨年より1種多い。鳥合わせ最中にオオタカが2羽上空を舞い、ハイタカ属の識別勉強会。解散後の野外懇親会は、暑いほどの日差しに、ヒト科のシロガシラアカショウビンは見事に赤く染まった。探鳥会はパスして懇親会だけ私服で参加した男性も。思い思いに楽しんだ2016年最初の行事は、2時ころに無事終了。(海老原美夫)

1月9日(土) 戸田市 彩湖

参加: 32名 天気: 晴

ヨシガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ クイナ バン オオバン ユリカモメ トビ オオタカ コゲラ ハヤブサ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ オオジュリン (41種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 出発して間もなく、池のほとりに1羽のクイナ! みんなでゆつくり観察できた。湖の西岸では人気のベニ

マシコが登場。赤い雄もいたが、近くに多くの人が集まったせいか、落ち着きがない。「少し離れても見えますよ」と声をかけたが、大声を出すわけにもいかない。難しいものだ。湖で休息中のカモ達は、立入り禁止区域に入ってきたカヌーに驚き、あたふたと大移動。
(小林みどり)

1月9日(土) 千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園

参加: 21名 天気: 快晴

ヒドリガモ オナガガモ スズガモ ホオジロガモ ビロードキンクロ ウミアイサ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ カワウ オオバン ダイゼン ハジロコチドリ シロチドリ ミヤコドリ オオハシシギ ミユビシギ ハマシギ ユリカモメ カモメ セグロカモメ ミサゴ ハシブトガラス ヒヨドリ ウグイス ムクドリ スズメ ハクセキレイ オオジュリン (28種) 潮回りも比較的良く、干潟が広がっていた。久々に、干潟におりたミヤコドリを観察。ハマシギ、ミユビシギに交じって、少し大き目のオオハシシギが3羽、三番瀬では珍しい。その後、ハジロコチドリ、ビロードキンクロも観察できた。(菱沼一充)

1月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 45名 天気: 晴

キジ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ トビ ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ モズ ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ トラツグミ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ カワラヒワ ベニマシコ シメ イカル ホオジロ カシラダカ アオジ (34種) (番外: ガビチョウ) 土手に上がるとツグミ、シメ、ムクドリの群れがゴルフ場にいた。イカル8羽が飛んできて全員で確認。河原に出るとジョウビタキ、カワセミ、モズが姿を見せた。野鳥の森入口で、一部の人がアカゲラ、トラツグミを見た。池では、シメ、シロハラ、ヤマガラ、メジロが水飲みに来て、ベニマシコも、アトリに盛り上がった。(千島康幸)

1月11日(月、祝) 滑川町 武蔵丘陵森林公園

参加: 52名 天気: 晴

コジュケイ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ コガモ キンクロハジロ カイツブ

リ キジバト カワウ アオサギ トビ ハイタカ ノスリ コゲラ アオゲラ モズ ハシブトガラス キクイタダキ ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ルリビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (35種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 年初めなので、管理センター長の八波氏にご挨拶を頂いた。ルリビタキが早くも日本庭園で観察でき、上空にはノスリが飛び、和やかな鳥見。山田大沼では、カモ達と、カワウの巣作りの様子を観察。鳥合わせは、暖かい多目的ホールで行った。(藤掛保司)

1月11日(月、祝) 春日部市 内牧公園

参加: 36名 天気: 晴

コガモ キジバト コサギ クイナ バン オオタカ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (27種) アスレチック公園内の池から内牧黒沼公園までで今日の出現鳥はあらかた出尽くした。特にトンボ池ではバンの声はすれども姿なしのところ、予期していなかったクイナ(当地初記録)が枯れアシの中からひよいと出てきた。これが打ち止め、運の尽き。後半はオオタカが空を舞い、タヒバリが田を歩く位で、雑木林は期待外れ。冬鳥よ! いつ来るの? 今でしょ! (石川敏男)

1月16日(土) 深谷市 仙元山公園

参加: 27名 天気: 快晴

カルガモ コガモ キジバト アオサギ ダイサギ コサギ カワセミ コゲラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ (26種) (番外: ドバト) 暖冬の影響か、鳥が少ない。滝宮神社はパスし、唐沢川沿いをいつもより先まで歩く。おかげでカワセミが見られた。仙元山では、期待していたトラツグミは、先行していたMさんだけの参考記録。ルリビタキも出ず、「せめてジョウビタキくらい出てくれよ」とぼやいたら途端に現れた。神通力健在? (新井 巖)

1月16日(土) 久喜市 久喜菖蒲公園

参加: 35名 天気: 晴

ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ コサギ バン オオバン カワセミ コゲラ モズ コクマルガラス ミヤマガラス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ アオジ オオジュリン (37種) (番外: ドバト) 人はカモの観察から鳥見にハマる♪ トモエガモは留守だったが、ヨシガモやマガモが放つ光沢、ヒドリガモの鼻筋の黄色、オナガガモの礼装姿、キンクロハジロの虹彩等の美しさに歓声があがった。さらにカンムリカイツブリ、亜種ダイサギやアオサギが色を添えた。(長嶋宏之)

1月17日(日) 加須市 渡良瀬遊水地

参加: 55名 天気: 晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ ミコアイサ カワアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン イソシギ セグロカモメ ミサゴ トビ チュウヒ ハイロチュウヒ ノスリ カワセミ アリスイ コゲラ アカゲラ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン (48種) (番外: ドバト) 目立ったのはベニマシコ。中の島を過ぎるころから何回も♀で姿を見せた。そして上空には、ミサゴやチュウヒ、ハヤブサなどに加えて、久しぶりにハイロチュウヒ(♀型)が飛んでくれた。少し遠かったもののミコアイサ、カワアイサが見られ、最後はアリスイも!! (佐野和宏)

1月17日(日) さいたま市 三室地区

参加: 60名 天気: 晴

コジュケイ キジ カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ ゴイサギ アオサギ ダイサギ バン オオバン タゲリ セグロカモメ

オオタカ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (35種) (番外: ドバト) 今年最初の三室探鳥会。冬の小鳥たちを求めて芝川沿い及び畑の周りを探鳥する。芝川ではタゲリを発見。三室地区では久しぶりのご対面で皆大喜び。35種の鳥達も三室らしく基本の鳥であった。(青木正俊)

1月23日(土) 長瀬町 長瀬

参加: 20名 天気: 晴

キジ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ イソシギ トビ ノスリ ハヤブサ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ シメ イカル ホオジロ カシラダカ アオジ (30種) (番外: ガビチョウ) 岩畳に下りてカモ類、キセキレイ、イソシギなどを見た。残雪が多い為、宝登山への参道に移動し、民俗資料館やロープウエー駐車場、宝登山神社などで観察。シロハラ、キジ、ルリビタキ、イカルは雪のない斜面で、上空ではノスリ、ハヤブサなど猛禽類を観察。(井上幹男)

1月23日(土) 入間市 さいたま緑の森博物館

参加: 24名 天気: 曇

キジバト トビ ノスリ カワセミ コゲラ モズ ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ アトリ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (26種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 狭山丘陵の自然環境保全のために県が設立した“雑木林博物館”を舞台に、当会として初の探鳥会。残雪の道に気を取られ、なかなか鳥に目が行かない。コース半ばでルリビタキ成鳥♂が出現。雪の白とのコントラストは絵になる! シロハラ、カシラダカ、アトリと、冬鳥が次々に現れ、上空にはノスリが舞った。鳥合わせさなかカワセミも姿を見せ、悪路と苦悶した甲斐があった。「残雪を背に舞い踊るルリビタキ 青き衣裳の映えるを知れり」(石光 章)



● 27 年度探鳥会実施状況の集計速報

普及部が主催した探鳥会は計画 127 回、雨天中止 9 回、実施 118 回、合計参加者数 4,635 人(1回平均 39.3 人)。前年度は実施 110 回、合計参加者数 4,155 人(1回平均 37.8 人)なので、実施回数、合計参加人数、1 回平均参加人数ともに増加しました。一般参加者の割合も前年度の 15%から 18.1%に増加したことが注目されます。

● 探鳥会参加費変更後の様子

4 月 1 日から探鳥会参加費が変更になりましたが、おかげさまをもちまして特にトラブルもなく、皆様にご協力いただいているとのことです。引き続きどうかよろしく願います。

● 野鳥の子そだて応援キャンペーン 2016

今年も野鳥の子そだての季節になりました。(公財)日本野鳥の会の公式サイトトップページから「見まもって、野鳥の子そだて」をクリックすると、2016 年度キャンペーンを見ることができます。

なかでも、落ちているヒナに遭遇した時の対応の仕方がわかる冊子『ヒナとの関わり方がわかるハンドブック』は注目の的。お子様にも楽しんでいただけるように、ヒナと出会う場面ごとの対処方法とともに、野鳥の子育ての話やクイズも掲載しています。

印刷版のお申し込みもできますが、同じ内容のダウンロード版も利用できます。ご活用ください。

● 会員の普及活動

4 月 13 日(水)NPO 法人国際自然大学校主催の彩の国シニア自然大学校専科・2016 年度野鳥観察コース開講。大宮第二公園で 1 時間半ほど講義と実習。小林みどりが指導。

● 久しぶりに「ごめんなさいコーナー」

・前月号 5 ページ「潮溜まりウォッチング」の下から 4 行目、アドレスの一部「@jom」は「@jcom」の誤りでした。

・同 12 ページ「会員の普及活動」の前半は、「2 月 27 日(土)渡良瀬遊水地で開催された新ハイキングクラブ主催『鳥を観る・知る 第 17 回』で、小林みどり、浅見徹、工藤洋三、星進が指導。参加者約 20 名。」の誤りでした。(アンダーライン部訂正)

● 会員数は

5 月 2 日現在 1,743 人。

活動と予定

● 4 月の活動

4 月 9 日(土)『しらこぼと』5 月号校正(海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、藤掛保司、長嶋宏之)。

4 月 17 日(日) 役員会(司会:長野誠治、総会準備、その他)。

● 6 月の予定

6 月 4 日(土) 編集部会。普及部会。

6 月 11 日(土) 7 月号校正(午後 4 時から)。

6 月 18 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

6 月 19 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

先般、飛行機好きの Mさんと JAL の整備工場見学に行った。スーツ姿の若者のいくつかの団体がいた。どれも男女全員黒一色のスーツ。テレビで見た大手企業の 2000 人余りの入社式も見事にまっ黒。昔は学生の黒制服時代があったが、1960 年代後半からの学園紛争などのおかげで消えたのになあ。(山口)

3 月、仕事場の小さなプラスチックの池にヒキガエルが産卵。この連休中に上陸が始まっている。これも全員黒一色。(山部)

しらこぼと 2016 年6月号(第 386 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社